

一問一答方式による一般質問



不育症・不妊症支援

高梨 明美



問 不妊症については、現在公費助成などもあり、だいぶ社会の理解も深まっていると思われる。しかし、まだまだ理解を深めることは必要である。不育症に至っては、社会ではこのような病気があることさえ分からないといった声が多いことが現状であり、理解を深めることはとても重要である。そのため広報や普及活動、情報の提供はどのように行っているか伺う。

健康増進課長 これまで妊娠に関する普及啓発講座、いわゆる妊活講座を開催しており、その中で不育症について講話を実施予定でありましたが、今年度はコロナウイルス感染拡大の影響で開催ができませんでした。不育症に関する理解という情報提供などについては、人知れず悩まれている方がいると思いますので、今後、講座以外の方法で何か情報提供ができないか検討したいと考えます。

問 オンラインでの開催も検討してはどうか伺う。

健康増進課長 保健センターの中での環境は整っているのですが、今後

検討したいと考えます。

問 岩沼市において不育症や不妊症の相談体制について伺う。

健康増進課長 子育て世代包括支援センターにおいて、保健師、助産師が電話や来庁による相談に応じられる体制を整えています。不育症や不妊症に関して相談が来た場合は、専門的な相談になるので、宮城県と仙台市が共同で設置している東北大学病院の産婦人科にある宮城県不妊・不育専門相談センターにつながるかと考えています。

問 気軽に相談できる体制を

例えば、市のホームページで情報の提供を行うなど、気軽に相談できる体制づくりが必要と考えるがどうか。

健康増進課長 住民の方にも情報提供をしていかなければいけないと考えていますので、ホームページ等のサイトにリンクするなど、閲覧できるようにしたいと考えています。

◎その他の一般質問

・おくやみ窓口の設置



仙台国際空港共生事業

寒風 澤敦司



問 押分排水機場の今後の整備計画について、排水ポンプを現在の40立方メートル（毎秒）から将来的に90立方メートルへ増やす計画があるが、事業の目安としていつ頃までの予定か伺う。

市長 以前からここは重要な拠点として整備を進めてきました。県の協力をいただき、国に直接働きかけをしています。大きな事業なので時間がかかるかと思っています。

五間堀川上流の排水対策

問 南長谷排水機場の新設について、県では国に早期の整備を要請するとあるが、市としてはどう受け止めているのか伺う。

総務部長 南長谷排水機場の整備は、国の直轄事業であり、国に早期の整備をしっかりと要請し、長期目標の事業として実施されるものと受け止めています。

問 想定している位置は決まっているのか伺う。

土木課長 詳細な位置は決まっています。計画上の位置は四日市場の排水機場の近傍と伺っています。

問 排水機場を整備するまで豪雨による災害も想定されるが、暫定的に五間堀川の排水対策を講じる考えはあるのか伺う。

土木課長 現在、暫定的な対策はありませんが、下流部から完成形で整備を進めており、早期完了に向けて事業を推進すると伺っています。

問 排水機場の整備に合わせ上流域の整備を行うとあるが、整備内容を伺う。

建設部長 南長谷地区になります。流下能力を向上させるために計画に基づいた築堤並びに河道掘削を予定しているかと伺っています。

市長 排水問題は岩沼市が抱える長期的な問題であると認識していただきたいと思います。自然災害が多発している中で、これからも積極的に洪水、浸水対策に力を入れなければなりませんので、県を通して国に働きかけていきたいと思っています。